

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 朝日ラバー  
 コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊藤 潤  
 (氏名) 堀 信幸

TEL 048-650-6051

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,485	7.6	55	△15.0	57	△23.8	36	△25.5
26年3月期第1四半期	1,381	13.4	65	58.6	74	210.1	48	242.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 39百万円 (△55.5%) 26年3月期第1四半期 88百万円 (175.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	7.96	—
26年3月期第1四半期	10.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第1四半期	8,495		3,226	38.0		709.40
26年3月期	8,456		3,209	38.0		705.77

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,226百万円 26年3月期 3,209百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.00	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,800	1.7	90	△24.5	75	△37.7	50	△35.5	10.99
通期	5,700	0.4	260	△9.1	220	△25.7	150	△6.8	32.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	4,618,520 株	26年3月期	4,618,520 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	70,900 株	26年3月期	70,900 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	4,547,620 株	26年3月期1Q	4,547,716 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は寒波の影響による落ち込みから順調に回復しており、欧州経済も穏やかに回復傾向にあります。また、アジアでは中国の経済成長の鈍化が続いていましたが、回復の兆しが見られる状況となっております。日本経済においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による民間消費の落ち込みなどにより、国内景気は景気回復基調が続いているものの、その動きがやや弱くなっている状況となっております。

このような中、当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020VISION」達成に向けて、平成26年4月からスタートした新中期経営計画を「V-1計画」と位置づけています。重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、各事業分野で、技術革新を基盤に新しい価値を創造し、収益の柱となる主力製品の受注を確保し、当社技術を活かした新製品の創造を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は14億8千5百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。利益面では、連結営業利益は5千5百万円（前年同四半期比15.0%減）、連結経常利益は5千7百万円（前年同四半期比23.8%減）、連結四半期純利益は3千6百万円（前年同四半期比25.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の海外向けの受注が好調に推移いたしました。また、自動車産業において、ASA COLOR LED及びスイッチ用ゴム製品等の自動車関連製品の受注が海外向けを中心に増加しました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は11億8千3百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。またセグメント利益は1億3千8百万円（前年同四半期比26.4%増）となりました。

#### 医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジ用ガスケット及び採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が堅調に推移しているものの、前年同期には新規量産のための金型起工及び販売があったことから、売上高は前年同期とほぼ同水準となりました。また、一部の製品において品質管理に係るコスト増等があったことから、営業費用が増加いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は3億2百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。また、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比73.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて3千8百万円増加し、84億9千5百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて2千1百万円増加し、52億6千9百万円となりました。その主な要因は、借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1千6百万円増加し、32億2千6百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の「平成26年3月期決算短信」で公表しました数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,072,245	2,040,711
受取手形及び売掛金	1,532,309	1,593,123
電子記録債権	88,001	76,970
商品及び製品	124,650	141,693
仕掛品	244,693	210,595
原材料及び貯蔵品	121,703	110,376
その他	95,839	128,366
貸倒引当金	△3,119	△3,251
流動資産合計	4,276,325	4,298,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,224,080	1,195,070
機械装置及び運搬具(純額)	1,122,903	1,114,736
土地	887,802	887,802
その他(純額)	139,648	135,121
有形固定資産合計	3,374,434	3,332,730
無形固定資産	10,491	10,856
投資その他の資産		
その他	799,139	856,322
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	795,717	852,900
固定資産合計	4,180,643	4,196,486
資産合計	8,456,968	8,495,073
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,023,940	1,017,199
1年内返済予定の長期借入金	1,017,022	1,003,527
未払法人税等	87,453	22,854
その他	633,522	640,356
流動負債合計	2,761,938	2,683,937
固定負債		
長期借入金	1,761,263	1,817,895
役員退職慰労引当金	223,307	255,659
退職給付に係る負債	474,792	487,518
その他	26,112	24,002
固定負債合計	2,485,474	2,585,074
負債合計	5,247,413	5,269,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,122,928	2,136,396
自己株式	△45,705	△45,705
株主資本合計	3,052,062	3,065,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,309	103,077
為替換算調整勘定	76,183	57,452
その他の包括利益累計額合計	157,492	160,530
純資産合計	3,209,554	3,226,061
負債純資産合計	8,456,968	8,495,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,381,547	1,485,928
売上原価	1,013,673	1,117,019
売上総利益	367,873	368,909
販売費及び一般管理費	302,225	313,121
営業利益	65,648	55,788
営業外収益		
受取利息	222	293
受取配当金	1,914	2,291
為替差益	4,455	—
補助金収入	9,259	3,824
雑収入	2,477	2,283
営業外収益合計	18,329	8,692
営業外費用		
支払利息	5,844	4,750
雑支出	3,290	2,671
営業外費用合計	9,135	7,421
経常利益	74,842	57,059
特別利益		
補助金収入	—	58,466
特別利益合計	—	58,466
特別損失		
固定資産除却損	1,493	5,518
固定資産圧縮損	—	56,674
その他	32	—
特別損失合計	1,526	62,192
税金等調整前四半期純利益	73,315	53,332
法人税等	24,704	17,126
少数株主損益調整前四半期純利益	48,611	36,206
四半期純利益	48,611	36,206

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,611	36,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,892	21,768
為替換算調整勘定	31,759	△18,730
その他の包括利益合計	39,652	3,038
四半期包括利益	88,263	39,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,263	39,244



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,078,124	303,422	1,381,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,078,124	303,422	1,381,547
セグメント利益	109,908	15,126	125,034

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	125,034
全社費用(注)	△59,386
四半期連結損益計算書の営業利益	65,648

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,183,875	302,053	1,485,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,183,875	302,053	1,485,928
セグメント利益	138,903	4,029	142,933

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	142,933
全社費用(注)	△87,145
四半期連結損益計算書の営業利益	55,788

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。